

平成26年度
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
(研究成果の社会還元・普及事業)
実施報告書

HT26260 ナメクジは賢い！～ナメクジの学習行動と脳の仕組み～



開催日：平成26年8月5日(火)

実施機関：福岡女子大学
(実施場所) (研究棟A棟 A103 学生実験室)

実施代表者：松尾 亮太
(所属・職名) (国際文理学部・准教授)

受講生：小学生16名
中学生 1名

関連 URL：

【実施内容】

<留意、工夫した点>

今回は、実施代表者が2年前に前所属の大学にて実施したプログラムに改良を加え、満を持して行った。主な改良点は以下の通りである。

- 1)参加受付の窓口を実施代表者に一本化することで、ダブルブッキング等による予期せぬ定員オーバーや、申し込みの殺到を回避した。
- 2)募集を近隣小学校のみに絞り込み、過剰な申し込みが発生することを回避した。
- 3)当日の実施協力者を増員することで、解剖実習においてほぼマンツーマンの態勢をとった。これらの対策がうまく機能し、申し込み時や当日のトラブルを防ぐことができた。

<当日のスケジュール>

当日のスケジュールはほぼ予定通りに進めることができた(下記)。

- 9:45～10:00 受付(研究棟 A棟 1階 A103(学生実験室)前)
- 10:00～10:15 開校式(あいさつ、オリエンテーション、科研費の説明)
- 10:15～10:30 講義(1):「ナメクジとその脳のはたらき①」
- 10:30～10:50 休憩(お茶)
- 10:50～12:20 実習(1)「ナメクジの学習行動実験」
- 12:20～13:20 昼食
- 13:20～13:50 講義(2):「ナメクジとその脳のはたらき②」
- 13:50～14:50 実習(2-1):「ナメクジの脳波記録&研究室探訪」または「ナメクジの脳の摘出」
- 14:50～15:05 休憩(お茶とお菓子)
- 15:05～16:05 実習(2-2):「ナメクジの脳の摘出」または「ナメクジの脳波記録&研究室探訪」
- 16:05～16:30 アンケート実施、質問タイム、未来博士号授与
- 16:30 解散

<実施の様子・安全配慮>

午前の開校式における「科研費の説明」は、JSPSの方が来られ、前回に代表者が行った説明よりも丁寧な説明を行って頂くことができた。午後の実習(2-1、2-2)では、実施分担者と協力し、参加者を9人と8人の半分に分け、2種類の実習を並行して行うことにより、脳摘出の解剖実習において十分に目が行き届くよう配慮できた。

<実施の様子(写真)>



講義(1):
ナメクジとその脳のはたらき①



実習(1):
ナメクジの学習行動実験



実習(1):
ナメクジの学習行動実験



講義(2):
ナメクジとその脳のはたらき②



実習(2):
ナメクジの脳波記録



実習(2):
研究室探訪



実習(2):
ナメクジの脳の摘出



実習(2):
ナメクジの脳の摘出



未来博士号授与後:
記念撮影

<今後の発展性、課題>

今後は、近隣の小学校のみならず、他地域の小学校の児童にも参加が可能となるような広報活動の方法を検討してゆきたい。また当日、予期せず病欠による欠席者が2名発生した。今後はこのような事態も想定し、定員よりもやや多めに受け付けをしても良いのではないかと思った。

<事務局との協力体制・広報活動>

本プログラムは、地域連携センター(近隣小学校への広報協力、案内ホームページ作成等)、経営管理部財務管理班(委託費の管理、支出報告書の作成等)、入試・広報・キャリア支援センター(案内ホームページの管理、プレスリリース)等、大学事務局からの協力を得て実施された。

【実施分担者】

美濃部 純子 国際文理学部・助手

【実施協力者】

7名

【事務担当者】

神山 絵美 学務部地域連携班